

事業名	荒川ダム管理費			調書番号	87
細事業名	「森と湖に親しむつどい」開催費	財務コード	137106		
担当部課室	県土整備 部	治水 課	治水 担当 (内線)	7313	

I 事業の概要

実施期間	始期 S62 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 県民	その対象をどのような状態にして 森林やダム等の役割について関心を高め ている	結果、何に結びつけるのか 森林やダム等の重要性に対する理解・意識 の醸成
内容	<p>(広瀬ダム、深城ダム、塩川ダム、荒川ダムの順で毎年開催) 国土交通省及び林野庁では、昭和62年度から、国民が森林や湖に親しむことにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもっている自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割について理解を深めることを目的として、毎年7月21日から7月31日までを「森と湖に親しむ旬間」として定めている。本県でもこの趣旨に沿って、昭和62年度の荒川ダム「森を湖に親しむつどい」より毎年開催している。(旬間中の日曜日等に1日間実施)</p> <p>○事業概要(平成29年度 [平成30年度は荒天により中止]) 会場:深城ダム ・ポスター・チラシの作成 (ポスター約300枚・・・県庁各所属、県内各市町村、各小学校、JR・富士急行各駅、高速道路各PA/SA、道の駅等に掲示) (チラシ約5700枚・・・上記に配布) ・イベント保険加入 ・啓蒙グッズ(うちわ、ボールペン、エコバッグ等)の購入費 (他に県観光部より観光グッズ等を受領し配布・PR。本開催費は不使用。) ・主催・共催各機関によるイベントは直営で実施(モーターボート巡視体験、ダム監査廊見学、丸太切り体験、キーホルダー作り、木工教室、発電所見学、ビデオ上映、土石流実験、流木プレゼント、特産品販売等)</p>		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	イベント参加人数	目標	820	500	4,000	725	700	400	4,000
		実績(見込)	700	400	4,000	600	雨天中止	雨天中止	
		達成率	85.4	80.0	100.0	82.8	雨天中止	雨天中止	
成果指標	ダムや森林の果たす役割について理解が得られたとアンケート回答して頂いた人の割合	目標	93.7	100.0	90.0	69.2	88.0	98.0	90.0
		実績(見込)	88.0	98.0	90.0	86.6	雨天中止	雨天中止	
		達成率	93.9	98.0	100.0	125.1	雨天中止	雨天中止	
達成区分		b	b	b	b	雨天中止	雨天中止		
決算(予算) 単位:千円		255	382	351	430	205	430	438	

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	平成30年度は雨天中止のため平成29年度事業で評価を行った。 平成28年度は広瀬ダムで開催しており、例年広瀬ダムでは市のイベント(笛吹川源流まつり会場は道の駅みとみ)と共催していることから参加人数が他ダムより多くなっている。 (会場)H26:塩川ダム、H27:荒川ダム、H28:広瀬ダム、H29:深城ダム、H30:塩川ダム、R1:荒川ダム、R2:広瀬ダム
成果指標	a	平成30年度は雨天中止のため平成29年度事業で評価を行った。ダムや森林の役割について理解度のアンケートをとった結果120%以上の達成率となることから意図した成果を十分に上げている。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

関係との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(森林やダム等の重要性に対する理解・意識の醸成は管理者である県が行うべきである。)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	継続して事業を実施することにより、ダムや森林の果たす役割、施設等の重要性に対する県民の意識の醸成を図ることができる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	ダムや森林の果たす役割について参加者の理解は得られており、一定の成果をあげているが、イベント参加者が減少傾向にあるため、イベントのPR方法等を見直す必要がある。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	やまなしインフラ魅力発信事業で開設したホームページにおいて、ダムの機能や魅力の情報発信を行うとともに本イベントの周知を行う等、関係所属と連携しながら、より効果的なイベントPRを行うこと等により、参加者を増やし、森林やダム等の重要性に対する県民の理解・意識の醸成を図っていく。
----------	----	---

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。